

SOCER NEWS SHIGA

(発行) 滋賀県サッカー協会
 (責任者) 理事長 福多 啓祐
 大津市南郷4-4-23

～ 今年度の活動を振り返って ～

滋賀県サッカー協会 理事長 福多啓祐

サッカー愛好の皆さん、お元気に活躍されていることと存じます。

本年はメンバーシップとフェアプレイを横軸に、各種競技会の実施、技術向上、指導者育成審判員の養成、規律部門の強化、そして広報活動の活性化を図って参りました。また、各種の大会で良かったことは、フットサルの全国大会（1種）において滋賀県のルネス学園が優勝し日本一になったことです。フットサルは、昨年から協会として力を入れだした競技で、まだ組織的に十分ではありませんが、ルネス学園の選手達のテクニックとチームワークで関西大会において1位になり、全国大会への代表権を獲得、今回の快挙となりました。また、国体少年の部で高校生選抜チームが関西予選に勝ち、福島国体に参加しました。例年停滞気味でした中学生も関西中学生招待大会でトレセンハーチームが1位ブロックで活躍しました。このように各種別とも競技力が向上していることです。

これら競技力向上を支えているのが専門部会です。外部講師を召喚して、各種研修会、トレセンなど内容のある事業を展開してきました。これら研修会に各種別の指導者多数の参加が望まれます。このあたりが反省すべきことだと思います。また、審判希望者の増強、上級審判員、上級コーチを目指す意欲を是非期待したいものです。滋賀県から国際的に活躍された、松田保U-17日本代表監督、森津陽太郎国際審判員が任期を終えられました。お二人には、長い間大変ご苦労をおかけしましたが、県内に後継者が続々育つよう今後もご尽力頂きたく存じます。また、お二人に続くよう皆さんに期待いたします。

幸い、事務局長の努力で念願のサッカー協会の事務所が本年度中には開設される予定です。皆様の個人登録をコンピューター処理ができるようになります。この事によって更にメンバーシップの強化、事務処理の合理化を図っていきます。会員の熱望であるサッカースタジアムの建設は残念ながら今年は決定できませんでした。来年度に持ち越す問題点が山積していますが、総じて少しづつではありますが、前進していると思っています。来年度はこれらの問題を解決しながら更なる躍進を図りたく皆さん共々知恵を出していきたいと存じます。最後に、本誌のタイトル名も皆さんの応募により決まりました。本年度のメンバーの方々のご努力に感謝申し上げます。

NISSAN CUP 96 第1回全日本フットサル選手権 全国大会

決勝

ルネス学園甲賀サッカーグラウンド 関西代表	7	$\begin{array}{ c c } \hline & 5 - 2 \\ \hline & 2 - 1 \\ \hline \end{array}$	3	札幌蹴球団 北海道代表
--------------------------	---	---	---	----------------

県のレベルアップに必要なこと

技術委員長 松田 保

近年、各種別共にどこの県が優勝するのか分からないくらい全国の力は接近してきています。滋賀県でも昭和56年滋賀国体少年の部：第3位、昭和57年鹿児島総体と高校選手権：第3位、昭和62年沖縄国体少年の部：準優勝、平成6年高校選手権：第3位と上位の成績を収め、望月選手（パープルサンガ）や井原選手（マリノス）等の優秀な選手も輩出してきました。しかし、最近はJリーグに入れるような選手が出てきていないのが現状です。その原因として、「指導者の技量と数の不足」・「一貫指導の遅れ」・「選手の県外流出」・「視野や情報の不足」等が考えられます。いずれの問題もできるだけ早期に解決しなければならない問題です。

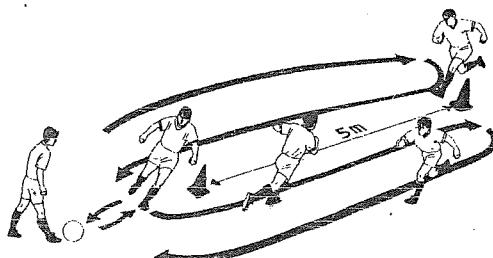
まず、第一はライセンスを取得している指導者の数を増やすことであり、指導者としての力量をつけ、指導者仲間の連携を深めてゆかなければならぬことだと思います。今年度第5回目の県サッカーコーチングスクールを開校したところ、今まで最多の41名の受講者がおり、サッカーのコーチングを学び、良い指導者を目指しておられる方がたくさんおられるのに意を強くしています。

かつて南宇和が38000人の人口で合理的な小・中・高の一貫指導を行い、高校で全国優勝を果たしました。世界の小国でも一貫指導によってワールドカップの上位に進出した国は、いくつもあります。選手や指導者が少ない滋賀県だからこそ、指導者の縦横の連携を密にして、小・中・高の合理的な一貫指導を行わなければならぬと思います。

サッカーという素晴らしいスポーツ文化が地域に根ざすためにも、選手の県外流出を避け、滋賀県や関西地域がレベルアップし、日本一になるチームが出てくることをみんなの夢にしてゆきたいものです。

近年、国際化が進み海外との交流は大変盛んになってきました。視野を広め、頭を柔軟にするためにも、チームや選手・指導者が積極的に海外に出かけてゆき、遠くを見ることで自分の足元もよく見えてくると思います。

どんなレベルにおいても結局は基本が大切であり、モラルが守れる人間としての基本や技術体力・戦術の基本が徹底され、しっかりとした土台がない限り、良い選手・良いチームはつくれません。一貫指導とはその土台づくりだと思います。今、指導者のチームワークが本当に必要です。



第48回県民体育大会

準決勝

守山北	1	$\begin{bmatrix} 0 & -0 \\ 1 & -0 \end{bmatrix}$	0	日野	草津東	3	$\begin{bmatrix} 2 & -1 \\ 0 & -1 \end{bmatrix}$	2	水口
-----	---	--	---	----	-----	---	--	---	----

決勝

草津東	2	$\begin{bmatrix} 0 & -0 \\ 2 & -0 \end{bmatrix}$	0	守山北		$\begin{bmatrix} 1 & -0 \\ 延長 & \\ 0 & -0 \end{bmatrix}$			
-----	---	--	---	-----	--	--	--	--	--

中4号

2種 高校生第74回全国高校サッカー選手権大会滋賀県大会
準決勝

守山北 1 [1-0
 0-0] 0 草津東
決 勝
守山北 3 [1-1
 2-0] 1 水口

水口 0 [0-0
 0-0] 0 水口東
2 [2-0
 延長] 1
0-1

3種 中学生

(1) 中央合同強化練習会

日枝 0 [0-1 0-0] 1 甲西	志賀 2 [0-0 2-0] 0 日吉
甲西 2 [1-0 1-1] 1 安土	日吉 0 [0-4 0-2] 6 能登川
安土 1 [1-0 0-0] 0 日枝	能登川 1 [1-0 0-0] 0 志賀

(2) 第19回滋賀県中学校秋季選手権大会

決 勝

甲西 2 [2-2
 0-0] 2 能登川
(規定により両校優勝)

(2) 第17回関西招待中学生選抜サッカー大会 (ガンバカップ)
予選リーグ

滋賀A 6-0 岡山	滋賀A 5-2 京都B
滋賀A 3-1 兵庫B	滋賀A 2-1 三島
滋賀B 2-3 福井	滋賀B 0-1 奈良A
滋賀B 0-8 泉北	滋賀B 1-0 和歌山B

滋賀Aは決勝トーナメント進出

滋賀Bは4位トーナメント進出

4位トーナメント

滋賀B 1 [1-0 0-2] 2 三島	滋賀B 0 [0-1 0-1] 2 大阪市
---------------------------	----------------------------

決勝トーナメント

滋賀A 0 [0-1 0-0] 1 兵庫A

8月の関西大会、11月の選考会、12月の京都招待、今回のガンバカップの結果により
梅本真吾君(土山中)と川口健二君(葉山中)が、関西選抜に選ばれました。

4種 小学生

(1) 第27回滋賀県サッカースポーツ少年団選手権大会(第3回しがぎんカップ)

準決勝

ラーゴ	4	-	1	南郷里	石部南	2	-	0	三雲
決勝戦									
ラーゴ	2	-	0	石部南					

(2) 第19回木下杯サッカー大会(第2回K a m p o カップ)

準決勝

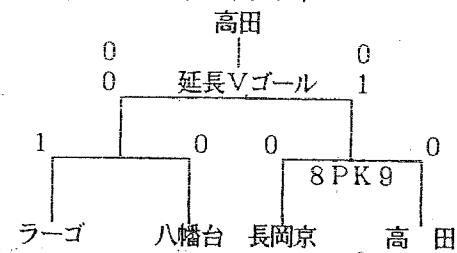
彦根	2	-	1	伴谷	サブレット	4	-	0	老上
3位決定戦									
老上	1	-	0	伴谷					
決勝戦									
彦根	2	-	2	サブレット					

(3) 第19回さわやか杯関西少年サッカー大会

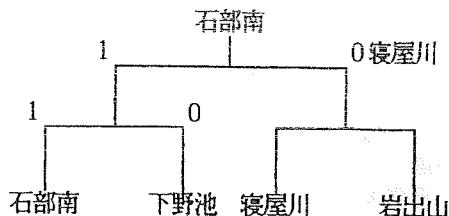
予選リーグ

ラーゴ (滋賀1位)	3	-	0	下野池 (大阪1位)
ラーゴ (滋賀1位)	0	-	0	龍野 (兵庫2位)
ラーゴ (滋賀1位)	3	-	0	明治 (奈良3位)
ラーゴは1位グループのトーナメントに進出				
石部南 (滋賀2位)	0	-	1	青英学園 (大阪2位)
石部南 (滋賀2位)	0	-	0	西宮市 (兵庫3位)
石部南 (滋賀2位)	0	-	0	八幡台 (和歌山1位)
石部南は3位グループのトーナメントに進出				

1位グループトーナメント

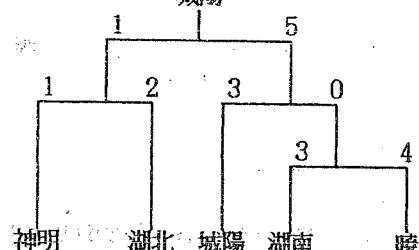


3位グループトーナメント

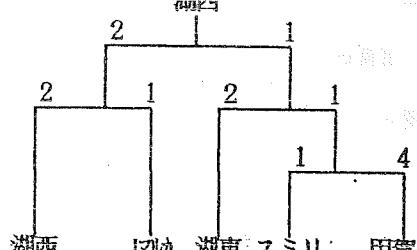


(4) 京滋親善少年サッカー大会

城陽



湖西



「可能性を実感して」

ルネス学園甲賀サッカークラブ監督 船越博史

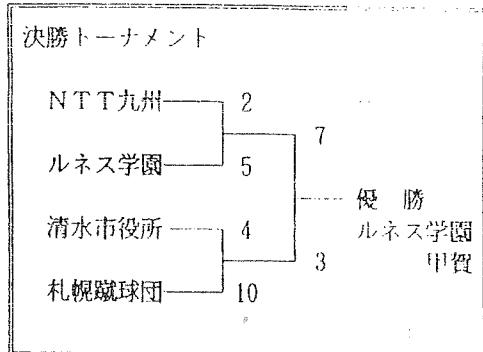
〈第一回全日本フットサル選手権大会 優勝〉フットサルチームをスタートした時は、夢にも思わないことでした。今年度より、本格的な大会があるということで昨年11月、11人制の部員の中より希望をついたりチームを編成しました。希望者ということで、とにかくサッカーは好きですが、技術的に少し劣る者もメンバーに入っており(全国優勝したメンバーもこの時点と同じ)、練習内容も、まず、ルールを覚え、フットサルのコートとボールに慣れることから始めました。約一ヶ月間、選手と一緒にプレーし、試行錯誤を繰り返しながら練習を積み重ねる中で、滋賀大会(12月)、関西大会(1月)と勝ち進み全国の切符を得ました。2月に入る頃には、チームのスタイルも整ってきましたが、まだまだ発展途上という状態で全国大会を迎えるました。

全国大会では、一戦から全ての試合で先制点を取られる苦しい展開が続きましたが「攻守の切りかえを早く、思い切りよくプレーを楽しむ」という目標どうり、粘り強さを發揮しながら笑顔で日本一をつかめました。この大会の山場は、準決勝のNTT九州戦でした。相手は、元浦和レッズや中央大、福岡大出身者と名のある選手ばかり、一方こちらは無名選手の集団。しかし、気負うことなく伸び伸びとプレーした結果、今まで最高のゲームで5対2と勝利をものにしました。

今回のフットサルを通じて、指導者の側が「やればできる」ということを教えたる様に思います。栄フットサル連盟理事長の「この大会が日本のフットサルの始まりです。みんなが考へているより早くプロ化されるかもしれないですよ。」という言葉がとても印象に残っています。現在、ルネス学園より3名が3月に上海で行われるフットサル・アジア東地区予選(日本・韓国・中国・香港で戦い、1位が11月のスペイン世界大会へ出場)の日本代表選考合宿に参加しています。

NISSAN CUP '96 第1回全日本フットサル選手権 全国大会

予選リーグ		ルネス	札幌	広島大
一位	ルネス学園 勝点 4		△ 8-8	○ 3-1
二位	札幌蹴球団 勝点 4	△ 8-8		○ 5-4
三位	広島大学 勝点 0	● 1-3	● 4-5	



いよいよ！

滋賀県サッカー協会事務所のオープン

ようやく事務所が開設できました。とりえずは、日々の協会事務を処理するために、午前10時から午後3時まで事務員を配置しその任に当たります。正式な業務開始は4月1日（月）です。

日本サッカー協会とコンピューターによるオンライン化が実現し色々な情報がリアルタイムで取り出すことができます。また、チームや選手の個人情報もコンピューターによって管理されることになりました。

まだまだ、軌道に乗るには時間がかかりますが、滋賀県のサッカー界の情報発信基地として機能するよう整備を進めていきたいと考えています。

気軽に立ち寄って下さい。場所は、県道231号線（栗東高校前の道）魚新橋の信号を少し東へ行ったところです。

住 所 〒520-30

滋賀県栗太郡栗東町小野796番地 滋賀県サッカー協会

電話・FAX 0775-51-2381 (滋賀県サッカー協会)

夜間は 0775-53-9617 (事務局 猪飼) または

030-26-03289 (携帯電話) へご連絡下さい。

平成8年度滋賀県サッカー協会総会について

総会を下記の日程で行います。多くの会員の皆様の出席も期待しています。

期 日 平成8年4月21日（日）午後4時から
場 所 つかやま荘（守山駅東口）

編集後記

平成7年度もいよいよ大詰めを迎えました。今年度の1年間各チームの活動結果はいかがでしたでしょうか。この広報誌も、やや時期が遅れたこともありました。第4号の発行を終えることができました。平成8年度は紙面の充実や、より多くの情報を皆様に提供できるよう頑張って行くつもりですので、ご意見やご希望を上記サッカー協会の事務所宛送って下さい。お待ちしております。

また、滋賀県サッカー界から井原選手や望月選手の後に続く優秀な選手が一人でも多く出現してくれることを願ってやみません。（サッカー小僧）